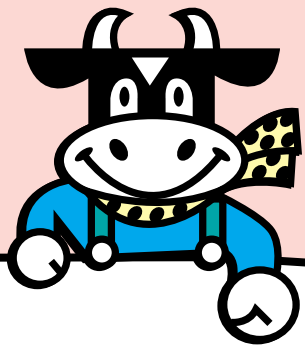


ワンポイント・アドバイス



臍へその感染症(臍帯炎)

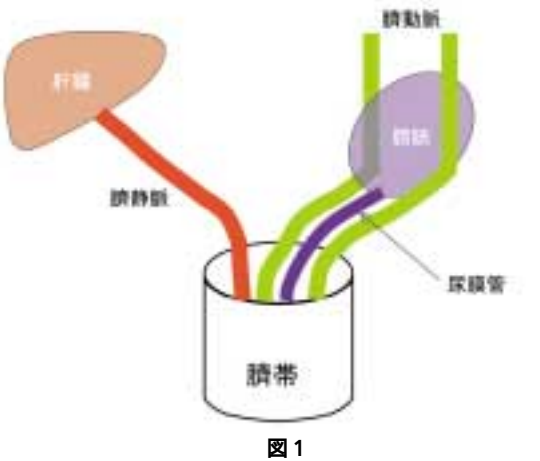


図1

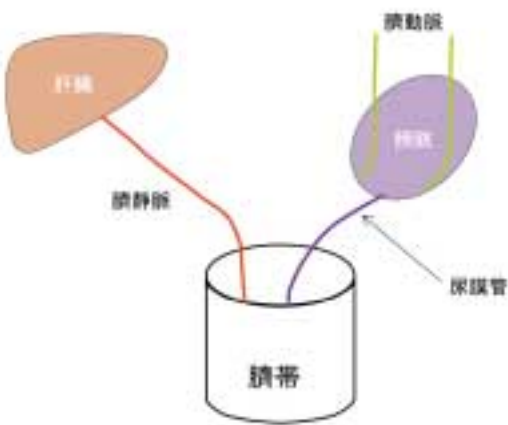


図2

入るのはもちろんですが、この臍からの感染も重要です。
子牛は全く抵抗力のない状態で生まれ、初乳を飲むことで初めて抵抗力(免疫抗体)を持ちます。多くの子牛は菌の多いところで生まれるので、全く抵抗力のない生まれたときに臍帯をきちんと消毒し臍からの感染を防ぐことが大切になります。

子牛は分娩前まで図1のように臍静脈、臍動脈、尿管が入っている臍帯で母牛とつながり、栄養を受け取ったり老廃物を渡したりしています。分娩と同時に臍帯が切れ臍動脈はすばやく膀胱の近くま

で退縮します。臍静脈と尿管は生後7日以内に乾燥し縮んで図2のようになると言われています。図2のようになるまでの間、子牛の腹腔は外界と繋がっているのです。病原体は鼻や口からも体内に

表は他県ですが、乳用子牛の主要疾病の割合を示したものです。単純に臍帯炎だけは2.3%ですが腸炎や肺炎、気管支炎などほかの病気の中には臍の消毒が不十分のために臍から菌が全身にまわった結果といったのも含まれているように思われ

腸炎	44.3%
その他胎子異常	11.1%
肺炎	9.3%
気管支炎	8.7%
胃腸炎	4.4%
コクシジウム病	4.4%
臍帯炎	2.3%
子牛虚弱症候群	1.7%
その他	13.8%

治は難しくなっています。こうならないようにできるかぎり細菌が臍から侵入しづらい環境作りや処置が重要になります。次にいくつかあげてみました。

牛床を清潔に保つ。

分娩時立ち会えた場合、臍帯を10cmほど残した状態で切断する。こ

うすることで臍の消毒がしつかりでき、また臍帯が乾燥しやすくなります。
消毒は臍の外側だけするのではなく、図2のようになるまでは臍静脈と尿管の2本が出ているはずなのでその2本の管の中も消毒することが臍の感染症予防に有効とも言われています。消毒液はインジンのほか乳房炎軟膏もいいそう

です。そしてこの消毒を臍帯が乾燥するまでの約1週間続ける。
子牛が初乳中の免疫抗体を吸収可能である早い段階で良質の初乳を十分量(体重の8~10%)給与する。

臍の感染症と同じように下腹部が膨らむのに臍ヘルニアがあります。見た目はとても似ていますが、臍帯炎はグツと触ると子牛は痛み、熱感があるのに対して多くの臍ヘルニアの場合触っても痛がらず膨らみを押すと引っ込みます。もし下腹部に膨らみを発見した場合、単に臍ヘルニアと思わず触ってみてください。



写真1

か?これは臍から侵入した細菌が肝臓や膀胱を通り全身にまわって関節炎をおこしたものです。こつなると完